

## 統計センターで行ってきた技術研究の例

OCR（光学式文字読取装置）によるデータ入力（精度向上策等）

OCR入力時における誤読・不読に関するデータ検証を通じた精度に関する研究  
また、OCRで入力したイメージデータについて、PC画面に表示し、データ訂正に活用することを目的としたイメージデータの質の向上に関する研究。

事業所・企業統計調査における産業分類自動格付システム

産業分類に関する分類格付事務について、コンピュータを用いて自動的に行うシステムである。

統計センターでは、産業分類自動格付けの研究、開発及び改良を平成4年度より開始し、平成10年度にパーソナルコンピュータを利用した実用システムが開発された。

国勢調査における世帯類型データ補定システム

世帯における個人の続柄や年齢などについて、人間のノウハウをデータベース化した知識DBを用いることで、エラーデータを補定するシステムである。

平成12年国勢調査用のシステムとして開発され、平成12年国勢調査の製表業務に導入されている。

データチェック処理用の汎用PCシステム

統計調査の集計に必要な個別データをチェックして矛盾点等を修正するプログラムを自動的に作成するシステムである。

調査の内容や性格に応じて、必要な各種定義情報を入力することで、いろいろな調査に汎用的に活用できる。